



地域の目

先日、地域の方からうれしいお電話をいただきました。

昼休みにボールが運動場のネットを超えて道路に。取りに出た男児が、止まってくれたトラックの運転手さんに深々とお辞儀をしたそうです。その態度がよほど気持ちよかったですでしょう。ボールを取り終えた男児に合図を送ると、また、丁寧にお辞儀を返したということでした。

それを見ていた地域の方が、「こちらまで嬉しく温かい気持ちになりました。」とお礼の言葉を…。とてもうれしいお話でした。

ある登校班の姿から



上の写真は、登校中、道路を横断した際、止まってくれた車にお礼をしている姿です。小走りで急いで横断すると、左右の車にお辞儀をしていました。見守りたいの方に尋ねると、この班では伝統的に上級生から下級生へと伝わっているということです。

マナーや礼儀とは、「互いが気持ちよく過ごすための思いやりの気持ちと行動」。

本年度の目標「人間関係づくり」のもとには、この二つの話のような思いやりの心と態度があります。

言葉遣いにチャレンジ～in4-3～



「4の3は、学習中教え合ったり、みんなで決めたことを一緒に作ったりして笑顔が増えてきた。でも、相手を傷つける言葉で、嫌な気持ちになっている人もいる。だから、言葉遣いをよくして、もっと笑顔を増やしたい。」という理由で、学級会が開かれました。学級の問題を共有し、自分たちで解決しようという取組。子ども達からは、ポスターやがんばりカードなど、いろいろな取組が出されました。

言葉遣いという難しい問題。子ども達の自らマナーを高めていこうという取組を応援し、広げていきたいと思います。

大溝小では、人間関係づくりの一環として、「大溝マナーアップ運動」を展開し、思いやりの心と態度を深め広げていきたいと思っています。ご家庭でも、挨拶を中心に声掛けをお願いします。

お知らせ

コロナ渦での多くの制約の中、子ども達にも少なからずストレスがあるようです。人間関係上のトラブルも見られます。そこで、大溝小に定期的に来られるスクールカウンセラー等の観察や相談を随時取り入れていきたいと思っています。ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。